

令和6年度大学コンソーシアムやまがた企画会議（第1回）議事要旨

- 日 時 令和6年4月25日（木） 14時30分～15時15分
- 場 所 山形大学法人本部第2会議室 ZoomによるWEB会議
- 出席者 東北芸術工科大学 : 柳川 郁生 副委員長／教授
鶴岡工業高等専門学校 : 八須 匡和 准教授
東北公益文科大学 : 白田 裕司 教務学生課長
山形大学 : 栗山 恭直 委員長／教授
〃 : 下平 裕之 教授
〃 : 柿崎 慎也 准教授
- 欠席者 東北公益文科大学 : 山本 裕樹 教授
東北文教大学短期大学部 : 佐久間 美智雄 教授
山形県立産業技術短期大学校 : 木村 和子 事務局次長兼総務課長
- 陪席者 山形大学 : 樋口 浩朗 総務部長付上席専門員兼
総務部総務課社会共創推進事務室長
〃 : 石澤慎太郎 総務部総務課社会共創推進事務室係長
- 事務局 : 今野 浩美

議事

【報告事項】

- 1 令和5年度 事業報告書について
(令和6年3月18日臨時総会承認)
事務局から、資料1に基づき、令和5年度の事業報告に係る企画会議の担当箇所について、説明があった。
- 2 第4期大学コンソーシアムやまがたの事業計画（案）の策定について
(令和6年3月18日臨時総会承認)
事務局から、資料2に基づき、第4期の事業計画について、説明があった。
- 3 令和6年度事業計画（案）について
(令和6年3月18日臨時総会承認)
事務局から、資料3に基づき、令和6年度の事業計画に係る企画会議の担当箇所について、説明があった。
- 4 令和6年度収支予算書（案）について
(令和6年3月18日臨時総会承認)
事務局から、資料4に基づき、令和6年度の収支予算に係る企画会議の担当箇所について、

説明があった。

5 やまがた社会共創推進プラットフォーム組織図（案）未定稿について

事務局から、資料5に基づきやまがた社会共創推進プラットフォーム（以下「やまぷら」という。）の組織について、説明があった。

【協議事項】

1 令和6年度における企画会議担当事業について

(1) 共同教育事業

事務局から、資料3に基づき、大学コンソーシアムやまがた（以下「コンソーシアム」という。）内の単位互換科目を作成できないか検討している。山形を知るため、座学とフィールドワークを連動させたものや、既に各教育機関にあるものを他の教育機関に開放する等、今年度は教育プログラムのニーズ調査を行い、来年度以降の実施について本会議で検討したい。今回、ご了承いただいた場合は、アンケート、調査方法を次回の会議で示したい旨説明があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり（◎…質問・意見、○…回答）。

- ◎ 各大学の単位互換科目ということで、教養科目、専門科目になると思われるが、どんなイメージを持っているのか。
- 単位を出すとすれば、シラバス、評価等が面倒になるので、まずは実施し、問題があれば対応したいと考えている。
- 共通のテーマを見つけ山形を考えるものも想定される。

(2) 学生による地域貢献・活性化プロジェクト

事務局から、本件については、従来から実施している事業である。コンソーシアムがやまぷらの高等教育連携部門に位置付けられたことから、資料6-1における地域という定義を「山形県内地域」とした。また、様式第2号について、目的を「やまぷら」の初期戦略の5つのテーマから、連携先を県内の団体等から選択することとしたことが大きな変更点である。これにより、自治体、経済界との協働が期待される。本会議で了承後、幹事会で諮り実施したい。令和6年度の実施スケジュールは、資料6-2のとおりとしたい旨説明があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり（◎…質問・意見、○…回答）。

- ◎ これまで県外との連携の実績はあるのか。
- ない。
- ◎ 活動実績書に写真の添付は義務付けているのか。ホームページに記載する際は写真があった方が良い。
- 事務側から依頼し、やまぷらとコンソーシアムのホームページに掲載したい。

(3) 「やまぷら」初期戦略に貢献する事業

事務局から、令和6年度からの新規事業で、学生による地域貢献・活性化プロジェクトの教員版として、資料6-1を参考に資料7を作成した。やまぷらの5つの初期戦略に貢献する教員及び連携プロジェクトを支援したい。本件について、本会議で了承後、幹事会で諮り

実施したい旨、説明があった。

本件に係る主な意見及び質疑応答は以下のとおり（◎…質問・意見、○…回答）。

- ◎ スケジュールは、学生のものと同様になるのか。
- 同様に進めることを考えている。
- ◎ 既に始まっている事業でも良いのか。
- 構わない。
- ◎ 他にファンドを受領している場合は、資金の重複制限はあるのか。
- 制限は無いが、申請の際に報告していただく。

（４）「やまがた夜話」

事務局から、資料３に基づき、今年度からコンソーシアムがやまぶらに移設されたため、自治体、企業、医療界の方等講師のバリエーションが増えたことから、講義に相応しいテーマがあればお知らせ願いたい旨説明があった。

引き続き、委員長から、開催については、ゆうキャンパスでは無く、各大学でも可能とし、ZOOM で見えていただくことや自宅で見ることが難しい方は、コンソーシアムに来ていただき、配信したものを見ることもできる。

また、各機関で実施をする公開講座を夜話として共同で開催することもできるので、検討願いたい旨説明があった。

次いで、会長から本件について諮られた結果、承認された。

２ その他

特になし。

【配付資料】

	令和６年度 大学コンソーシアムやまがた 企画会議委員名簿
資料１	令和５年度 大学コンソーシアムやまがた事業報告書（案）
資料２	第４期大学コンソーシアムやまがたの事業計画（案）の策定について
資料３	大学コンソーシアムやまがた 令和６年度事業計画書（案）
資料４	令和６年度 大学コンソーシアムやまがた収支予算書（案）
資料５	やまがた社会共創推進プラットフォーム組織図（案）未定稿
資料６－１	「やまぶら」学生による地域貢献・活性化プロジェクト支援助成金交付要綱 （一部改正）（案）
資料６－２	同 スケジュール（案）
資料７	「やまぶら」初期戦略プロジェクト支援助成金交付要綱（案）
参考資料	やまがた社会共創プラットフォーム